

こどもがしるべき

コリントへの

コリントへのは、パウロがコリントにったです。のにされた２ののののです。

コリントのあったコリントというは、ローマのでも、とてもえていたのでした。そのため、いろいろなのがざっていました。

ローマの、にされていたギリシヤ、ローマのシャーマニズム、のななど、と、なれのゆえに、コリントのたちも、するようになりました。このにをめたパウロが、コリントのたちをめて、くのよくないことかられるようにけようと、このをしました。

コリントへのでは

はじめに、はキリストをのとし、すべてのをとするひとつのからだだとっています。それゆえ、はこののとにしたがっていくのではなく、のみことばをにきるようにしなければならないとっています。また、のからだは、のだとっています。

つ、についてっています。

つ、にはいろいろありますが、それにられないで、ただとのにになることだけをえなければならないとっています。

つ、の、にする、をにしたのいいについてっています。

がたちにくださったのがあります。

イエス・キリストののによってけたいです。

コリントのように、のみことばと、こののにっていくことのでんでいるはいますか。コリントへのをして、とわれた私のをしましょう。そして、しいをめるようにいます。